

南山大学人類学研究所 共同研究会

第1期:1979-1982 土着宗教と伝統宗教

	研究担当者氏名	職	地 域(テーマ)
1	白鳥芳郎・代表	上智大学文学部教授	中国南西部(道教)
2	大岩 碩	金城学院大学文学部講師	スリランカ(仏教)
3	山田隆治	南山大学文学部教授	インド(ヒンドゥ教)
4	倉田 勇	同上教授	インドネシア(回教)
5	森部 一	同上講師	タイ(仏教)
6	杉本良男	同上講師	南アジア(ヒンドゥー教、仏教)

回	年月日	発表者	発表題目
	1979年度		
1	昭和54年6月19日(火)	討論:白鳥、山田、倉田、大岩、森部	研究の方向付けと方法
2	昭和54年7月7日(土)	山田隆治	インド分析の視点
3	昭和54年10月27日(土)	白鳥芳郎	西北タイ・ヤオ族の儀礼と生活
4	昭和54年11月10日(土)	倉田 勇	アチェ社会の回教について
5	昭和54年12月4日(火)	森部 一	タイ研究覚え書き
6	昭和55年1月19日(土)	大岩 碩	シンハリ社会の宗教
7	昭和55年3月29日(土)	倉田 勇	アチェ社会の婚姻と世帯形成
	1980年度		
8	昭和55年5月10日(土)	森部 一	タイ農民の超自然界の構造
9	昭和55年6月14日(土)	山田隆治	シヴァ神の統合機能
10	昭和55年7月12日(土)	大岩 碩	シンハラ宗教における供物の研究
11	昭和55年11月1日(土)	森部 一	死と再生観—タイの場合
12	昭和55年12月13日(土)	大岩 碩	仏陀、神、鬼神、Pretaの供物
13	昭和56年1月13日(火)	倉田 勇	アチェ社会の家族に見られる供物
	1981年度		
14	昭和56年4月11日(土)	白鳥、山田、倉田、大岩、森部、杉本	研究所活動打合せ
15	昭和56年5月9日(土)	倉田 勇	回教化したアチェ社会の暦について
16	昭和56年6月20日(土)	倉田 勇	回教化したアチェ社会の暦について(続)
17	昭和56年7月11日(土)	杉本良男	南アジアの宗教人類学
18	昭和56年9月4日(金)	白鳥芳郎	中国民間信仰と媽祖伝説
19	昭和56年9月19日(土)	討論	第1期研究成果『伝統宗教と民間信仰』刊行編集会議
20	昭和56年10月17日(土)	討論	第1期研究成果をめぐって(1)
21	昭和56年11月28日(土)	討論	第1期研究成果をめぐって(2)、その他
22	昭和56年12月19日(土)	討論	第2期の方向づけについて
23	昭和57年1月16日(土)	白鳥芳郎	南中国の少数民族(スライド)
		討論	第2期研究テーマと各自の研究
24	昭和57年2月17日(水)	佐々木宏幹	土着化宗教の諸問題(1)
25	昭和57年3月27日(土)	佐々木宏幹	土着化宗教の諸問題(2)

第2期:1982-1985 伝統宗教と土着化の諸相

	研究担当者氏名	職	地 域(テーマ)
1	白鳥芳郎	上智大学文学部教授	中国東南沿岸地方(道教)
2	佐々木宏幹	駒沢大学教授	日本、台湾、マレーシア(仏教)
3	大岩 碩	金城学院大学文学部助教授	スリランカ(仏教)
4	山田隆治	南山大学文学部教授	インド(ヒンドゥ教)
5	倉田 勇	同上教授	インドネシア(イスラム教)
6	森部 一	同上助教授	タイ(仏教)
7	坂井信三	同上講師	西アフリカ(イスラム教)
8	杉本良男	同上講師	南アジア(ヒンドゥー教、仏教)

回	年月日	発表者	発表題目
	1982年度		
1	昭和57年4月24日(土)	討論	第2期研究活動の方向づけ
2	昭和57年5月29日(土)	倉田 勇	インドネシアにおける割礼の考察
3	昭和57年6月19日(土)	森部 一	出家の目的について
4	昭和57年7月3日(土)	大岩 碩	Wet Zone シンハラ農民の農耕儀礼と仏陀観
5	昭和57年11月16日(火)	佐々木宏幹	童乱(Tang-ki)と童身(Tang-shen)
6	昭和57年12月11日(土)	杉本良男	村落・寺院・王権
7	昭和58年1月22日(土)	山田隆治	シヴァ・シャクティ・女神
	1983年度		
8	昭和58年4月23日(土)	坂井信三	西アフリカ諸民族における職人の社会的地位についての予備的考察
9	昭和58年5月14日(土)	クネヒト・ベトロ*	葬式に関するフィールド・ワークをめぐって
10	昭和58年7月2日(土)	白鳥芳郎	Miyaoの葬祭
11	昭和58年9月17日(土)	森部 一	僧侶と戒律
12	昭和58年10月15日(土)	大岩 碩	シンハラの新年祭とウェサック祭
13	昭和58年11月12日(土)	佐々木宏幹	長崎五島におけるホウニンの治病儀礼について
14	昭和58年12月17日(土)	杉本良男	地方神の黄昏
15	昭和59年1月28日(土)	倉田 勇	ジャワ回教社会のライフ・サイクルの若干の考察
16	昭和59年3月15日(木)	討論	1982・83年度の総括と今後の展望
	1984年度		
17	昭和59年5月19日(土)	三浦太郎*	スルー社会におけるフォーク・イスラームの様相
18	昭和59年6月23日(土)	討論	第2期成果『宗教的統合の諸相』刊行編集会議
19	昭和59年10月6日(土)	坂井信三	西アフリカのイスラム化の一側面
20	昭和59年10月27日(土)	山田隆治	シヴァの妻との同一視
21	昭和59年12月1日(土)	佐々木宏幹	シンガポールにおける童乱(Tang-ki)の治病儀礼
22	昭和59年12月15日(土)	討論	第2期研究成果『宗教的統合の諸相』刊行編集会議
23	昭和60年1月26日(土)	討論	第3期研究計画について
24	昭和60年3月23日(土)	討論	第2期研究計画の総括

* オブザーバー

第3期：1985-1988 伝統宗教と社会・政治的統合

	研究担当者氏名	職	地 域(テーマ)
1	白鳥芳郎	上智大学文学部教授	中国東南沿海地方(道教)
2	佐々木宏幹	駒沢大学教授	日本・台湾・東南アジア(仏教・道教)
3	大岩 碩	金城学院大学文学部助教授	スリランカ(仏教)
4	三浦太郎	英知大学講師	フィリピン(イスラーム教)
5	山田隆治	南山大学文学部教授	インド(ヒンドゥ教)
6	倉田 勇	同上教授	インドネシア(イスラーム教)
7	森部 一	同上助教授	タイ(仏教)
8	クネヒト・ペトロ	同上助教授	日本(仏教)
9	坂井信三	同上助教授	西アフリカ(イスラーム教)
10	杉本良男	同上助教授	南アジア(ヒンドゥー教、仏教)

回	年月日	発表者	発表題目
1985年度			
1	昭和60年4月27日(土)	討論	第3期研究計画の方向づけ
2	昭和60年5月18日(土)	クネヒト・ペトロ	念仏講と葬式——宮城県花山村の事例
3	昭和60年6月22日(土)	三浦太郎	スルーの他界観とそのシンクレティズム
4	昭和60年7月6日(土)	倉田 勇	バナナ・デインデン——(冷)と(熱)の儀礼慣行
5	昭和60年11月16日(土)	佐々木宏幹	社会変化と宗教——シンガポール華人社会の事例から
6	昭和60年12月14日(土)	杉本良男	コホンバー・カンカーリ——(1)儀礼の研究
7	昭和61年1月25日(土)	大岩 碩	スリランカ、Y.M.B.A.による仏教教育と仏教日曜学校の現状——覚書
8	昭和61年3月29日(土)	山田隆治	二道説をめぐるspeculation
1986年度			
9	昭和61年4月26日(土)	坂井信三	マンデ系イスラーム教徒における宗教的閉鎖性について
10	昭和61年5月10日(土)	三浦太郎	フランスタド(儀礼的自殺)に関する予備的考察
11	昭和61年6月14日(土)	杉本良男	コホンバー・カンカーリ——(2)神話の研究
12	昭和61年7月5日(土)	倉田 勇	ジャワ人の宗教とイスラーム(覚書)
13	昭和61年11月29日(土)	佐々木宏幹	東南アジア華人社会における童乩信仰のヴァリエーション考
14	昭和61年12月20日(土)	森部 一	バンコクの僧院における地方出身者の動向について
15	昭和62年1月24日(土)	大岩 碩	王権と仏教の関係について
16	昭和62年3月28日(土)	坂井信三	西スーダンのイスラームと奴隷
1987年度			
17	昭和62年5月9日(土)	三浦太郎	エスニック・グループの統合とイスラーム
18	昭和62年6月13日(土)	倉田 勇	Amparitaブキス人社会の不和と調和——H.M.Atho MUDZHARの報告を中心として
19	昭和62年7月4日(土)	森部 一	タイの僧侶と政治活動
20	昭和62年10月17日(土)	大岩 碩	王権と仏教の関係について
21	昭和62年11月28日(土)	佐々木宏幹	華人社会の安全弁としての神教
22	昭和62年12月19日(土)	杉本良男	コホンバー・カンカーリ——(3)神話の研究
23	昭和63年1月23日(土)	討論	第4期研究計画について
24	昭和63年3月26日(土)	討論	第3期研究計画の総括

第4期：1988-1991 伝統宗教と伝統的知識体系

	研究担当者氏名	職	地 域(テーマ)
1	白鳥芳郎	上智大学文学部名誉教授	中国南部(道教)
2	佐々木宏幹	駒沢大学教授	日本・台湾・東南アジア(仏教・道教)
3	大岩 碩	金城学院大学文学部助教授	スリランカ(仏教)
4	三浦太郎	英知大学講師	フィリピン(イスラーム教)
5	加藤隆浩	関西外国語大学講師	ペルー(キリスト教)
6	山田隆治	南山大学文学部教授	インド(ヒンドゥ教)
7	倉田 勇	同上教授	インドネシア(イスラーム教)
8	クネヒト・ペトロ	同上助教授	日本(仏教)
9	森部 一	同上助教授	タイ(仏教)
10	坂井信三	同上助教授	西アフリカ(イスラーム教)
11	杉本良男	同上助教授	南インド(ヒンドゥー教)

回	年月日	発表者	発表題目
1988年度			
1	昭和63年5月21日(土)	杉本良男	南インドにおける宗教的知識と職能者——ブラーフマン至上主義批判序説
2	昭和63年6月18日(土)	坂井信三	知識論のイスラーム的文脈とサハラ・スーダンの文脈
3	昭和63年7月2日(土)	森部 一	VajiranaanaのDhamma観について——「民衆仏教」との関連において
4	昭和63年10月15日(土)	大岩 碩	キャンディー王国時代のサンガ
5	昭和63年11月19日(土)	三浦太郎	スルー社会におけるアラビア文字(1)——特にクラーンをめぐる
6	昭和63年12月17日(土)	佐々木宏幹	コスモスの知と近代的な知のあいだ——マレー人の憑霊現象をめぐる
7	平成元年1月28日(土)	加藤隆浩	知としての神話——アンデス高地のインカリ
8	平成元年3月18日(土)	倉田 勇	インドネシアのイスラーム伝統主義と改革主義——ジャワ社会の場合(1)
1989年度			
9	平成元年4月22日(土)	川崎一平*	秘密の分配者——ニューギニア社会における知識人考
10	平成元年5月20日(土)	杉本良男	田舎の王宮——タミル神社考(1)村落編
11	平成元年6月24日(土)	坂井信三	知識・祝福・呪術——西スーダンのイスラーム的知識論
12	平成元年7月8日(土)	森部 一	BuddhadasaのDhamma観について
13	平成元年10月14日(土)	三浦太郎	スルーのスルタンについての覚書——その権利と権原をめぐる
14	平成元年11月18日(土)	倉田 勇	インドネシアのイスラーム伝統主義と改革主義——ジャワ社会の場合(2) 現代イスラーム教師
15	平成元年12月16日(土)	佐々木宏幹	ユタの変革性に関する覚書
16	平成2年1月27日(土)	加藤隆浩	双子英雄譚とアンデス高知のプーマ
1990年度			
17	平成2年4月21日(土)	大岩 碩	シンハラ農民の伝統的農耕儀礼と上座部仏教の関連について
18	平成2年6月16日(土)	川崎一平*	知識人と無敵の男
19	平成2年6月30日(土)	森部 一	村の中のBuddhadasa ビク
20	平成2年7月17日(火)	坂井信三	イスラーム的呪術の非イスラーム的流通——「イスラーム/非イスラーム」枠組みの再検討のために
21	平成2年10月20日(土)	白鳥芳郎	エスノヒストリーからみた中国西南民族にみられる共生の諸問題
22	平成2年11月24日(土)	山田隆治	モデルとしてのVarna体制
23	平成2年12月20日(木)	佐々木宏幹	憑霊と儒教——マレーシアの黄老仙師慈教再論
24	平成3年1月19日(土)	加藤隆浩	アンデスの死と夢判断
25	平成3年3月23日(土)	杉本良男	第4期研究計画総括並びに調査報告
1991年度			
26	平成3年7月13日(土)	討論**	回顧と展望——人類学研究所研究計画4期12年を総括する

* オブザーバー
 ** 『人類学研究所通信』1号により補足。

第5期:1992-1995 宗教・民族・伝統のイデオロギー論的考察

	研究担当者氏名	職	地域(テーマ)
1	佐々木宏幹	駒沢大学教授	東南アジア華人社会
2	吉原和男	近畿大学助教授	東南アジア華人社会
3	山下晋司	東京大学助教授	インドネシア
4	長谷川清	岐阜教育大学講師	中国南部
5	馬場雄司	同朋大学講師	タイ北部
6	小野沢正喜	筑波大学助教授	タイ
7	石井 溥	東京外大AA研教授	ネパール、東インド
8	関根康正	学習院女子短期大学教授	南インド・タミルナードゥ州
9	小林 勝	長崎純心大学講師	南インド・ケーララ州
10	大塚和夫	東京都立大学助教授	中近東、北アフリカ
11	坂井信三	南山大学助教授	西アフリカ(イスラーム教)
12	杉本良男	南山大学助教授	南インド(ヒンドゥー教)

回	年月日	発表者	発表題目
1991年度			
0	平成4年1月25日(土)	杉本良男	宗教・民族・伝統——タミルナードゥとスリランカ
		討論	各地の状況の紹介と今後の研究の方向性
1992年度			
1	平成4年7月4日(土)	大塚和夫	イスラーム(近代)——アラブの事例を中心に
	平成4年7月5日(日)	坂井信三	19世紀マリの一都市における政治的危機と聖者の活動
2	平成5年1月31日(日)	山下晋司	20世紀バリの宗教——歴史の中の宗教の動態
		石井 溥	ネワール、ミティラー、バルバテ・ヒンドゥーの儀礼の比較研究
1993年度			
3	平成5年5月22日(土)	長谷川清	タイ族と仏教——現代中国における宗教再生の構図
		馬場雄司	北タイ、タイ・ルー族の守護霊儀礼とその社会的背景
	平成5年5月23日(日)	小野沢正喜	現代タイ仏教における改革主義——仏教的FUNDAMENTALISMの2つの類型
4	平成6年3月26日(土)	吉原和男	タイ華人社会における大宗祠の建造
		関根康正	Is Caste an Orientalist Construct?
1994年度			
5	平成6年7月16日(土)	石井 溥	〈南アジア文化〉? ——ネワール、ミティラー、バルバテ・ヒンドゥーからの考察
		小林 勝	女神祭祀の二律性とその変容
6	平成6年11月26日(土)	坂井信三	呪術から法学へ——19世紀西スーダンのイスラーム学者と文書活動
		全員	総括討論

研究会 キリスト教ミッションの人類学的研究の試み

	研究担当者氏名	職	地域(テーマ)
1	クネヒト・ベトロ	南山大学助教授	日本・ヨーロッパ
2	笠原政治	横浜国立大学助教授	台湾
3	玉置康明	静岡県立大学助教授	フィリピン
4	吉岡政徳	神戸大学	メラネシア
5	川崎一平	岡崎学園大学国際短期大学講師	ニューギニア
6	原 毅彦	信州大学	南アメリカ
7	加藤隆浩	関西外国語大学	南アメリカ
8	出口 顕	島根大学	東・南アフリカ
9	中島星子	南山大学	マダガスカル・モーリシャス・コモロ
10	小林 勝	総合研究大学院大学	南インド・ケーララ州
11	杉本良男○	南山大学助教授	南インド・タミルナードゥ州
12	坂井信三*	南山大学助教授	西アフリカ
13	吉田竹也*	南山大学大学院	バリ島

○:世話人

*:オブザーバー

1992-1995

第5期研究計画への予備的研究会「キリスト教ミッションの人類学的研究の試み」

	年月日	発表者	発表題目
1992年度			
0	平成3年12月14日(土)	杉本良男	歓迎の挨拶
		原 毅彦	南アメリカのミッションと人類学
	平成3年12月15日(日)	討論	各地のミッションと伝統的社会・文化
		小林 勝	南インド・ケーララ州のミッションとカースト社会
		全体討論	今後の研究の方向性をめぐって
1993年度			
1	平成4年6月20日(土)	クネヒト・ベトロ	ミッションの理念——カトリック教会を中心に
		坂井信三	キリスト教ミッションの理念と活動
	平成4年6月21日(日)	出口 顕	Parallax, ディンカとカトリシズム
2	平成4年12月18日(金)	川崎一平	ミッションは何を伝えたか——バプアニューギニアにおける布教活動と現在
		田口理恵	コメント インドネシアの事例から
	平成4年12月19日(土)	吉岡政徳	ヴェヌアツにおける布教活動と現在
1994年度			
3	平成5年7月3日(土)	玉置泰明	翻訳と改宗——フィリピンの初期キリスト教をめぐって
		杉本良男	プロテスタントの倫理とシンハラ仏教の精神——宗教の浄化と呪術の剥奪
4	平成6年1月29日(土)	加藤隆浩	カトリックからプロテスタントへ——ポリビア・アイマラ族の事例から
		笠原政治	台湾におけるミッションの水脈

第6期:1997-2000 アジア移民のエスニシティと宗教

	研究担当者氏名	職	地 域(テーマ)
1	吉原和男	南山大学助教授	不詳
2	川上郁雄	宮城教育大学教授	不詳
3	田沼幸子	大阪大学大学院	不詳
4	王 維	中部大学・中部高等学術研究所研究員	不詳
5	韓 景旭	西南学院大学助教授	不詳
6	藤井健志	東京学芸大学教授	不詳
7	五十嵐真子	神戸学院大学助教授	不詳
8	三尾裕子	東京外大AA研助教授	不詳
9	床呂郁哉	東京外大AA研助教授	不詳
10	宮原 暁	大阪外大助教授	不詳
11	芹澤知広	奈良大学専任講師	不詳
12	村上忠良	日本学術振興会特別研究員	不詳
13	谷口裕久	京都文教大学助手	不詳

回	年月日	発表者	発表題目
1997年度			
1	平成9年5月23日(金)	討論	今後の計画について協議
2	平成9年10月18日(土)	藤井健志	日系新宗教と移民
平成9年10月19日(日)		関根政美(特別講師)	Ethnicityについて
		五十嵐真子	コメンテーター
		五十嵐真子	台湾漢族の新宗教
平成10年1月24日(土)		藤井健志	コメンテーター
		川上郁雄	在日ベトナム人の宗教と生活世界
		芹澤知広	コメンテーター
		前山 隆(特別講師)	エスニシティを祀る——ブラジル日系人の場合
		王維	長崎華僑の祭祀と芸能——その類型と新たな伝統の創造
		吉原和男	コメンテーター
1998年度			
4	平成10年10月17日(土)	芹澤知広	ベトナム・ホーチミン市の華人カトリック教会に関する調査研究
平成10年10月18日(日)		宮原 暁	コメンテーター
		別府晴海(特別講師)	グローバル化する日本の人的拡散
		宮原 暁	《もの》の移動とエスニティー——フィリピン咱人社会における《富》と《福》の再分配をめぐって
平成10年11月21日(土)		村上忠良	タイ国北部、パキスタン系移民(パターン人)のエスニシティと宗教
		谷口裕久	コメンテーター
		谷口裕久	タイ北部の雲南系漢人にみる移住と婚姻
		村上忠良	コメンテーター
		三尾裕子	台湾ナショナリズムについての一考察——廟宇を通じた兩岸交流を契機に
		吉原和男	コメンテーター
平成10年11月22日(日)		田沼幸子	似ていても「他なる者」——在東京ビルマ人の他者境界について
		川上郁雄	コメンテーター
		韓 景旭	中国朝鮮族とキリスト教
		李 仁子	コメンテーター
		吉野耕作(特別講師)	マレーシアのマルチ・エスニシティ
平成10年12月20日(日)		李 仁子、鈴木健太郎	在日韓国・朝鮮人の宗教生活——先行研究の検討と在日の帰郷葬送
		韓 景旭、熊田一雄	コメンテーター
1999年度			
7	平成11年7月3日(土)	熊田一雄	アジア移民の宗教とエスニシティ
		林 淳(特別講演)	マレーシアにおける創価学会の展開史
		討論	出版計画の段取りの決定

第7期:2001-2004 アジアにおける「市場(market)」をめぐる固有論理に関する学際的研究

	研究担当者氏名	職	地 域(テーマ)
1	クネヒト・ペトロ	南山大学教授・人類研所長	中国内モンゴルにおける物々交換
2	原不二夫	南山大学教授・アジア学科長	アジア経済危機におけるマレーシアのマレー人企業と華人企業の対応
3	森部 一	南山大学教授	タイの開発債
4	坂井信三	南山大学教授	アフリカ、マリにおける在地綿生産と植民地主義
5	中 裕史	南山大学助教授	社会主義体制下の中国文学
6	中西久枝	名古屋大学大学院教授	イランのバザールと宗教指導者の関係、イスラム銀行のありかた
7	吉田竹也	南山大学助教授	バリ島の観光人類学
8	野田真里	名古屋大学大学院助手	内発的発展と仏教
9	宮沢千尋	南山大学講師	社会主義「市場」体制下における、「経済計算制」と農業合作社によるバオカップ(包給)制度維持への努力

回	年月日	発表者	発表題目
2001年度			
	(開催されず)		
2002年度			
1	平成14年7月13日(土)	宮沢千尋	社会主義市場体制下のベトナム北部における農業合作社——「経済計算制(hach toan)」の中の「合作社によるバオカップ(bao cap)制度」
2	平成14年9月25日(水)	森部 一	タイ農村における新しい経済発展と仏教の関わり
3	平成14年11月27日(水)	吉田竹也	市場としての観光地——バリ島ウブドの日本人店舗について
4	平成15年1月	クネヒト・ペトロ*	大興安嶺のトナカイ・エウエンキの交易について
		*本プロジェクトで受けた研究助成	東海学術振興会研究助成
			南山大学経営研究センタープロジェクト助成
			*『通信』の記録には欠けているが、クネヒトの業績一覧には1月とだけ記載がある。これを入れると研究会の回数は8回になる。
2003年度			
5	平成15年4月28日(月)	原不二夫	マレーシアにおけるマレー人企業と華人企業——経済危機への対応
6	平成15年6月28日(土)	坂井信三	宝貝の流通と交換——西アフリカの市場内通貨
7	平成15年11月12日(水)	中 裕史	市場経済化における中国文学の変容
8	平成16年3月26日(金)	中西久枝	イラン社会の公益とガパナス——宗教組織を中心に
		伊藤友美*	日本の地域通貨の社会的機能

第8期長期プロジェクト予備研究会仮テーマ「開発・近代化と宗教の「再選択」」

回	年月日	発表者	発表題目
2005年度			
1	平成17年6月25日(土)	坂井信三	西アフリカのイスラームと社会変動
		吉田竹也	観光地バリにおける宗教と観光の選択—その主体をめぐる予備的考察
		宮沢千尋	社会主義国ベトナムにおける宗教と「宗教」
2	平成17年7月29日(金)	川田牧人	洞窟の驚異—セブ市グアダルーベ・カルトをめぐるまちづくりと宗教
		森部 一	タイの「開発僧」を中心とした「下からの開発」をめぐる覚書 —北タイ農村の事例の紹介と今後の課題の提示

第8期:2006-2008 コロニアル、ポスト・コロニアル状況下の社会変容と宗教の再選択

	研究担当者氏名	職	地 域(テーマ)
1	坂井 信三	南山大学人文学部教授	西アフリカ(マリ)の宗教と社会変化
2	森部 一	南山大学人文学部教授	タイの開発と仏教
3	川田 牧人	中京大学社会学部教授	フィリピン・セブの宗教
4	吉田 竹也	南山大学人文学部准教授	バリの宗教と観光
5	加藤 隆浩	南山大学外国語学部教授	ラテンアメリカ
6	石原美奈子	南山大学人文学部准教授	エチオピアの精霊信仰に見る宗教共存
7	中田 友子	南山大学人類学研究所非常勤研究	ラオスの諸民族と宗教
8	河邊 真次	南山大学大学院文学研究科博士後期課	中央アンデスのプロテスタント改宗に伴う社会変化と開発
9	宮沢 千尋	南山大学人類学研究所准教授	社会勢力としてのベトナム・カオダイ教の政治化と軍事化

回	年月日	発表者	発表題目
2006年度			
1	平成18年7月29日(土)	森部 一	タイの開発僧の思想の特徴とその問題点 —主として北タイのブラ・テーブカワイに焦点を当てて
		吉田竹也	観光の選択? 宗教の選択? —バリの社会と宗教の現状をめぐって
2	平成18年10月28日(土)	河邊真次	改宗に伴う社会変化と開発 —中央アンデスにおけるプロテスタント諸派の布教戦略を中心に
		宮沢千尋	コロニアル状況から生まれ出たカオダイ教の軍事化と政治化
3	平成18年12月2日(土)	石原美奈子	エチオピア帝国の形成と異教共存—皇帝・霊媒師と踊る精霊たち